



# 教員が研究の楽しさを語る

## 第156回(5/9)ブックガイド

### ユリアン ビオンティーノ 先生推薦



※掲載されている本はL棟2階 あかりんアワーのコーナーに配架されます。

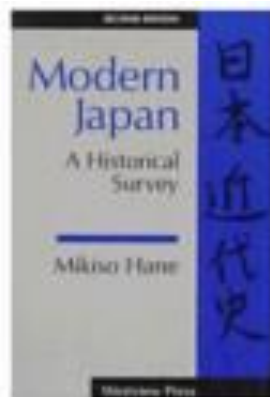
#### Book1

##### *Modern Japan : a historical survey (2nd ed)*

著者 : Mikiso Hane

出版 : Westview Press, 1992

コメント : 英語での日本近現代史入門書。私の日本史へ関心を持った理由とも言える本。英語で日本史、歴史表現を学ぶならオススメ。今まで読んできた日本語での日本史の本に比べて、いろいろ発見も可能と思う。ただ、最近はこちらよりAndrew Gordon氏のThe Modern History of Japanが読まれているが、見逃せないタイトルである。



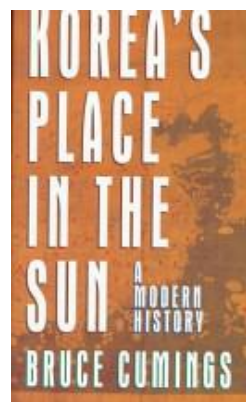
#### Book2

##### *Korea's place in the sun : a modern history*

著者 : Bruce Cumings

出版 : Norton, 1997

コメント : 『現代朝鮮の歴史 : 世界のなかの朝鮮』の日本語訳(横田安司, 小林知子訳)あり。朝鮮史を初めて学ぶ人に大変読みやすい本。関連付けとユーモアのうまいアプローチで書いた入門書で科学性を時々問う必要があるが、朝鮮史のポイントが楽しく、面白く学べる本である。



#### Book3

##### *The chrysanthemum and the sword : patterns of Japanese culture*

著者 : Ruth Benedict

出版 : Houghton Mifflin, 1989

コメント : いろんな日本語訳あり。米国における「日本学」を誕生させた「古典」ともいえる。第二次世界大戦中に書いたものなので、「日本文化の研究」よりは、日本をどう他者化したのかなどの疑問をもって読む「史料」として把握すべし。これを読んでから丸山眞男の『日本の思想』と対照するのがオススメである。

